

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	バロール ブラックドッグ		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	レネゲイド災害緊急対応班
	オプション		年齢	26	性別	オネエ
覚醒	死	衝動	憎悪	初期侵食率	36	%
出自	名家の生まれ	経験	技術畑	邂逅	幼子	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	0	0			2	行動値	15
感覚	2	1	3			6	(非装備時)	15
精神	3	0	0			3	戦闘移動	20
社会	1	0	0			1	全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1	3	RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	1		情報:UGN	1	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コネ:UGN幹部		ロイス			
思い出の一品					
制服・携帯電話		対象	感情(pos)	感情(neg)	消費
		遺産“エレウシスの秘儀”	P 執着	N 憎悪	
		獅子内 律	P 慕情	N 悔悟	
		『マルコ』隊員	P 連帯感	N 不安	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	4	残り財産P:	1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト (バロール)	2	2	Xジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: C値-LV								
瞬速の刃	3	3	Xジャー	武器	-	射撃	-	
効果: D+[LV+1]								
魔王の理	3	2	Xジャー	武器	-	シンドローム	-	
効果: 攻撃力+[LV*2]								
斥力の矢	5	2	マイナー	視界	自身	-	-	
効果: 命中-1、攻撃力+[LV*2]の射撃武器作成								
アームズリンク	3	2	Xジャー	武器	-	射撃	-	
効果: D+LV								
ポケットディメンション	1	-	Xジャー	至近		-	-	
効果: 空間を作り出す								
電子使い	1	-	Xジャー	至近		-	-	
効果: 記録媒体のハードなしでの読み取り・書き込み								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

『マルコ』隊長には周りにドン引きされつつオーヴァードを狩っていたら気付いたら選ばれていた。正直今も『解せぬ』と思っているが責任感がない訳ではない(十分にあるとは言っていない)ため後任が育つか命令されるまでは動も上げるつもり。

服装は至って普通の制服を着崩すことなく着用していて一見分からないが口を開くとテンション高め(オカун属性若干あり)のオネエである。所作は中性的。顔のつくりも中性的だが化粧はしていない。ただし洗顔後の保湿と美白、日焼け止めは習慣化している。パイダがそもそも積極的に恋愛したいと思っていない。

レネゲイド災害で亡くした双子の姉がいて(名前は律・りつ)、オネエに目撃されたわけではなく、姉の話し方を真似ることで姉を亡くした喪失感を補完している。そう言った闇の深い部分は知っている人間はごくごく僅かだし、UGNに入ったきっかけすら『え?イイ男に声かけられてナンパだと思ってついっただけで気付いたらこうなっちゃってえ?』とか言ってしまうに巻くので辛い過去を抱えている人間だと周囲には認識されていない(されたくない訳ではないが『わざわざな気分にはさせちゃうのもお、こっただってやでしょ?』と言うくらい軽い気持ち)。

戦闘時はDS化。部下一番だが敵の殲滅はもはや本能。それは、『律』(すること)を失ったせいで、狂い暴れる獣。

オネエ口調でヘラヘラしている上司に対し、部下になった者はだいたいドン引きするが仕事の遅延は一切ないのでだいたい1ヵ月くらいで慣れる。別の隊の隊長にはあからさまに嫌ってくる者もいる(口調よりも態度が原因)。『ふざけているけれどしめる時はしめるし仕事には忠実だ。…ふざけているけれど』と気付けた者だけだけ仲良くなる。

時々自分の席を離れてどこかに行っているように見えるが、集中したい時に『ポケットディメンション』で机の右の下段引き出しに自分の仕事用空間(8畳)を作ってお気に入りのクッションと一緒に籠っているのが真実。